

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	教育委員会事務局	学務課
施設名称	[36]	東京都台東区立たいとうこども園	指定管理者	社会福祉法人東京児童協会	
選定方法	■公募 □継続特例 □非公募		指定期間	H26. 4. 1	～ H31. 3. 31

1. 施設および事業の概要	
(1)	[設置目的] 就学前の子供を保護者の就労の有無にかかわらず受け入れ、一貫した教育・保育を提供するとともに、地域における子育て支援を行う。
(2)	[所在地] 台東区下谷3-1-12 [規模] SRC・RC一部S造 5階建のうち1階(延床面積1536.26㎡ 屋外遊戯場456㎡)
(3)	[委託事業] 認定こども園の管理運営 [自主事業] スポット延長保育
(4)	[利用者] 生後57日～就学前の児童 [利用料金制] ■有 □無 □その他( )
(5)	[開館日・時間] 月～土曜日(祝祭日・年末年始を除く)、7:15～18:15(延長保育は19:15まで)
(6)	[人員体制] 39名(内訳)園長(1) 副園長(1) 保育者(常勤23※うち育休1、非常勤6) 看護師(常勤1) 調理師・栄養士(常勤4、非常勤1) 事務(常勤1) 嘱託医(1) [前年増減] 保育者(非常勤-2)

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料(指定管理料)	233,745,000	230,881,342	239,854,000	234,656,704
	利用料金収入	1,030,000	1,288,630	1,850,000	1,671,560
	その他収入(給食費)	4,500,000	3,796,000	4,500,000	3,878,935
	計	239,275,000	235,965,972	246,204,000	240,207,199
支出	人件費	159,550,000	158,028,857	177,550,000	178,539,811
	光熱水費	0	0	0	0
	維持管理費(委託料・賃借料)	310,000	557,158	1,390,000	1,358,100
	修繕費	250,000	6,500	250,000	233,004
	事業費	18,300,000	18,114,815	18,400,000	17,850,440
	その他支出	12,290,000	9,181,866	15,475,000	12,586,216
	計	190,700,000	185,889,196	213,065,000	210,567,571
収支			50,076,776		29,639,628

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
定員	人	161	158	161	161
年間保育日数	日	292	293	294	293

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
入所児童数(4月1日現在)	人	161	147	159	159

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況	
園での日常の取組みについて、保護者への情報伝達が課題であったが、写真を取り入れた掲示や園便りを工夫する等、発信方法の改善に積極的に取り組んだ。それにより、園の教育・保育活動に対する保護者の理解と更なる教育・保育の充実が図られた。	

**6. 評価の観点** (20点) 水準を全て満たしている (年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である (一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った

(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
18 / 20 点	保育環境を重視した職員配置が行われており、また、安定した労働環境が保たれている。地域及び関係機関との情報共有・連携を図り、施設の安全対策に努めている。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	園内外研修のほかに法人独自の研修を取り入れ、特に人材育成や幼児教育の向上に力を入れており、常日頃から教育・保育の質の向上に努めている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
18 / 20 点	定期的に施設、設備の点検を行い、修繕箇所等があった場合は、区と連携のうえ早急な対応を図っている。事故を未然に防ぐためにも、危険箇所等の把握に、より一層努めていく必要がある。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	保護者アンケートによる満足度は高く、前回実施時と比べ、ほとんどの項目で評価が上昇している。アンケート回収率の向上と各評価に対する具体的な改善策を検討し、更なるサービスの向上を図っていく必要がある。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	消耗品の買入れ等についてコストの削減に努めた。また、定期的に公認会計士の確認を受けており、収支管理は適切かつ効率的に行われている。

(6) 優れた取組み <b>《加点点目》</b> <small>※点数上限：10点</small>	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
3 点	利用者のニーズを的確に捉えて、3歳児預かり保育の開始日を2か月早め、積極的に受入れ体制の整備と改善を図ったことは、利用者へのサービスの質及び量の向上に大いに寄与した。

**7. 総合評価** 極めて良好 (110~101) ・ 良好 (100~91) ・ 適正 (90~70) ・ 改善指示 (69以下)

<b>良好</b>  ( 95 / 110点)	<b>【所見】</b> 多様な利用者のニーズを的確に捉えながら、園の運営に反映させており、教育・保育の更なる充実が図られている。利用者の満足度も高く、良好なサービスが提供されている。	<b>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</b> ・ 事故を未然に防ぐため、施設の危険箇所等を的確に把握できるような点検方法及び体制を整備していく必要がある。 ・ 保護者への周知方法の改善や保護者の相談に応じられる体制づくりが必要である。
-------------------------------	--	--